

オグラ金属株式会社

栃木県足利市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

金属加工の高い技術力をもとに産学官連携による新技術開発に、絶えず挑戦する中核企業

- バリフリー切削加工技術の確立により生産性向上に取り組む
- 地域におけるサプライチェーンの中核として、雇用創出を担う中核的企業
- 大手メーカーとの協業体制による成長分野市場獲得により、持続的成長を遂げるビジネスモデルを構築

企業基本情報

所在地	栃木県足利市川崎町 1310
電話/FAX	0284-91-4111/0284-91-4127
URL	http://www.ogura-gr.co.jp
代表者	代表取締役社長 小倉 勝興
設立(創業)	1938年 1922年
資本金	9,900万円
従業員数	330人



会社概要

自動車部品製造を中心に、設計から切削、溶接、プレス等一貫した生産体制を構築。創業以来蓄積した金属加工技術を活かし、鉄道車両の座席フレームやアミューズメント関係、太陽光発電用パワーコンディショナー部品の製造も行う。産学官連携による新技術開発に積極的であり、独自の切削加工技術やLEDによる電照栽培装置を開発し事業化。海外展開では2012年にタイに工場を設立。地域内の協力企業は約200社と企業間協力関係が確立しており、地域中核企業としての役割も果たしている。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ バリフリー切削加工技術で生産性向上を実現

太陽光発電システムのコンディショナーカバーの加工を手がけている。従来よりカバー端面の加工を行う際に発生するバリ取りは、納品リードタイムの長期化及び生産性を低下させる要因となっていた。創業95年で培ったプレス、しぼり加工技術の高度化を図るため、サポイン事業にてバリフリー切削加工技術を確立し生産性向上を実現。納品リードタイムも従来工法の約4ヶ月から2ヶ月に短縮し、バリ取りコストも約59%削減し安定した生産を可能とした。



バリフリー技術確立により実現したコンディショナー製品

▶▶▶ タイをはじめ積極的に海外市場獲得に取り組む

2012年、国内生産縮小懸念やアジア圏の自動車市場拡大を見据え、タイに自動車サスペンション部品の製造拠点を取引先と合併にて設立。また中国・金型企業との連携など海外市場獲得にも積極的に取り組んでいる。



平成25年6月 タイ工場 (Y-OAT) 建設 副開発地
タイ工場 (Y-OAT)

▶▶▶ 大手メーカーとの協業体制で新技術・新製品開発を進め、持続的成長を遂げるビジネスモデルを構築

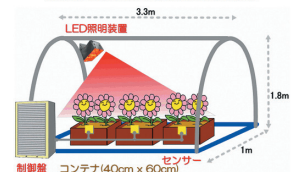
創業以来蓄積した金属加工技術を中心に大手メーカーとの協業体制により新技術・新製品開発を進め、成長分野市場への進出を果たし、持続的成長を遂げている。

付加価値の低い作業工程が海外流出する一方、同社は技術の高度化により高品質や生産性向上、合理的なコスト等の課題解決に取り組み、大手メーカーへのVE提案により共同開発に参画。太陽光システム関連部品の受注を獲得し、成長分野への進出を果たしている。

また、2016年からは今後市場拡大が見込まれる探査ロボットの研究開発を開始。その他、先端企業とのCFRP加工技術開発、農業分野においても宇都宮大学との連携により、農業電照用LEDエコシステム「saisou」を開発するなど、成長分野市場への進出を果たし、メーカーとしても今後成長が見込まれる。

農業電照用らくらくLEDエコシステム

農業電照用らくらくLEDエコシステム「saisou」は、農業用ハウス内での栽培による生産量向上へ適用できる、LEDを利用し、省エネを実現した電照システムです。



同社製品：農業電照用LEDエコシステム「saisou」